

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

悪性腫瘍の頭蓋内転移と末梢血腫瘍マーカー値についての観察研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 放射線科 (研究責任者)石橋 直也

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2019年 12月 31日

<研究の目的と意義>

肺癌や乳癌において carcinoembryonic antigen (CEA) や pro-gastrin-releasing peptide (ProGRP) や neuron-specific enolase (NSE) や cancer antigen 15-3 (CA15-3) などの末梢血腫瘍マーカー値は予後因子や治療効果因子として広く使われている。また肺癌や乳癌は中枢神経など頭蓋内に転移しやすく肺癌において末梢血 CEA や ProGRP や NSE 値が高値ほど頭蓋内転移が起りやすいという予測因子となる報告もある。一方これらの報告の末梢血腫瘍マーカー値の測定のタイミングは原発巣の初回治療時など頭蓋内転移が起きる前であり頭蓋内転移発見時点での末梢血腫瘍マーカー値についての検討は過去にほとんどない。我々は悪性腫瘍の頭蓋内転移発見時点での末梢血腫瘍マーカー値について brain magnetic resonance imaging (MRI) 所見を含めた臨床情報と比較検討する。本研究の結果によっては悪性腫瘍の頭蓋内転移と末梢血腫瘍マーカー値の新たな関連性からが見つかるともかもしれない。

<利用する試料・情報の項目>

悪性腫瘍の頭蓋内転移が見つかった方についての末梢血採血の腫瘍マーカー値や頭部 MRI 画像や悪性腫瘍の種類や過去の治療経過

<対象となる患者さん>

2013年1月1日～2018年12月1日の期間に当院で悪性腫瘍の頭蓋内転移が見つかった方

<研究の方法>

追跡調査で末梢血採血の腫瘍マーカー値の経過を観察し頭蓋内転移の頭部MRI画像診断や性別や原発巣や治療経過などについての検討を行う。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

放射線科 氏名:石橋 直也

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2553 (PHS)8648